

北里大学病院・北里大学東病院（旧）を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	Uncommon mutation および Compound mutation を認める非小細胞肺癌の単施設の後方視的研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	呼吸器外科学 講師 三窪 将史
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	<p>非小細胞肺癌の加療において、今や遺伝子変異の検索はなくてはならないものになっています。特に EGFR 遺伝子変異は日本人の約半数に認められており、EGFR 遺伝子変異陽性肺癌に対する EGFR-TKI は非常に効果の高い治療法であることが知られています。</p> <p>EGFR の遺伝子変異は大きく分けて common mutation , uncommon mutation に分けることができます。また、単一の変異(Single mutation)だけでなく 1 つの遺伝子に複数の変異を持つ重複変異(compound mutation)の存在も認められております。EGFR の common mutation として知られる exon19 欠失変異と exon21 L858R 点突然変異に対しての EGFR-TKI の有効性は数多く報告されておりますが、uncommon mutation および compound mutation を認める非小細胞肺癌に対する EGFR-TKI の効果は諸説あり、EGFR-TKI や化学療法、手術や放射線療法を含めた治療の選択については確立されておられません。</p> <p>このため今回の研究では uncommon mutation および compound mutation を認める非小細胞肺癌を後方視的に調査し、有用な治療法の探索を行うことで、これらの肺癌に対する治療法を選ぶ際の一助となると考えております。</p>
調査データ 該当期間	1990年1月1日から2026年12月31日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	2000年1月1日から2022年10月30日の期間に北里大学病院呼吸器外科において非小細胞肺癌と診断され外科的切除を受けた患者さま
研究の方法 (使用する試料等)	<p>利用する情報</p> <p>1990年1月1日から2026年12月31日の期間にある紙カルテおよび電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>
試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	<p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p> <p>本研究の遂行のための費用は北里大学医学部呼吸器外科学研究費を使用する。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け適切に管理されております。</p>

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>所属・職位：呼吸器外科学 講師 担当者：三窪将史（ミクボマサシ） 電話：042-778-9112</p>
備考	